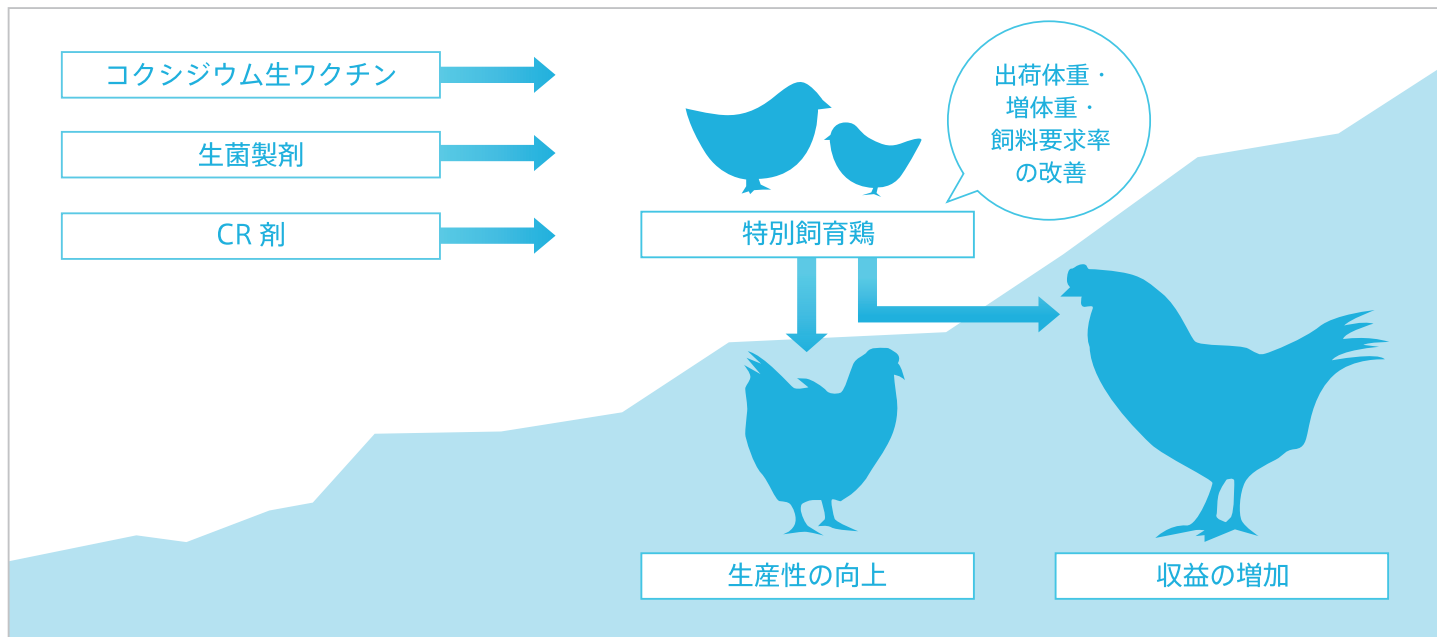


## 特別飼育 ( 無薬 ) 鶏における生産性向上対策

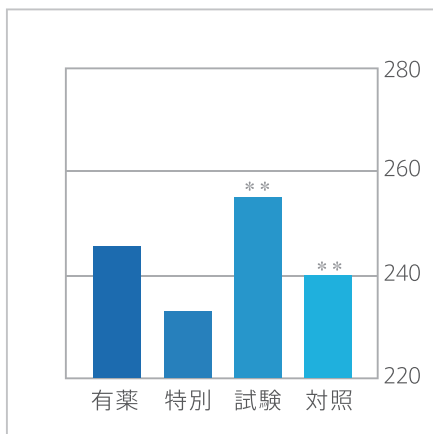
1 農場で特別飼育 ( 無薬 ) 鶏に CE 剤、鶏コクシジウム生ワクチン、生菌剤を計画的に投与したところ、出荷体重、増体重、飼料要求率等が改善されて、生産性の向上と収益の増加が見込まれました。



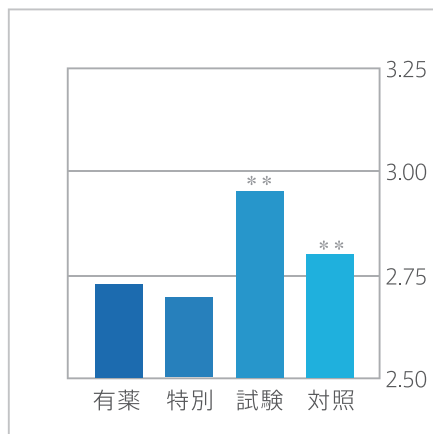
## 生産成績

\*\*P < 0.01

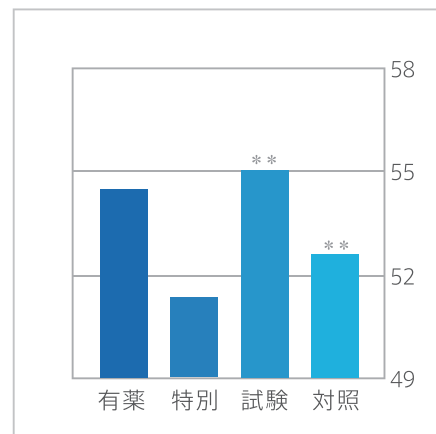
生産指数 ( 推定 ) ※



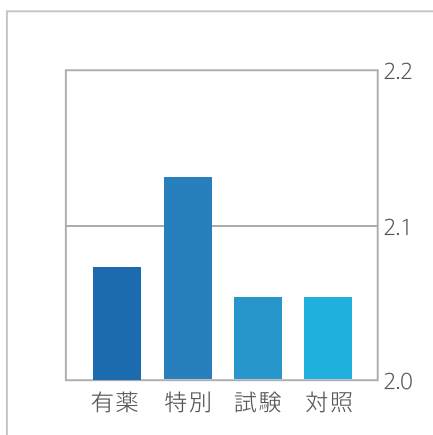
出荷体重 (kg)



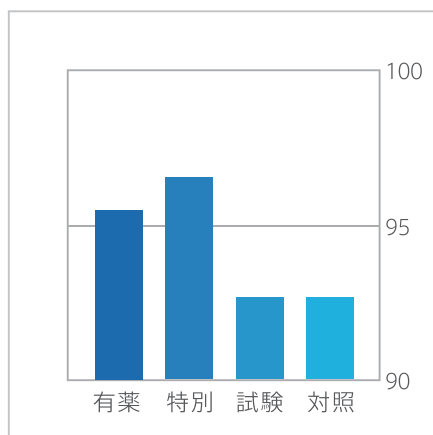
1 日当り増体重



飼料要求率 ( 推定 )



育成率 (%)



有薬 (H12) : 6 回転分の平均  
 特別 (H13) : 5 回転分の平均  
 試験区 : 6 鶏舎の平均  
 対照区 : 12 鶏舎の平均

※5.5281×日増 -50.683  
 過去 11 回転分のデータ  
 より算出 (r=0.88)

## 費用対効果

入雛数 × 育成率 × 平均体重

試験区 91.8% 2925g  
対照区 92.1% 2803g

総売上

173.2 円 × 総出荷体重  
( 生体 1kg あたりの販売価格 )

1羽あたりの売上げ

試験区 465.17 円 / 羽  
対照区 446.98 円 / 羽

総売上 ÷ 入雛羽数

費用対効果

試験区 465.17 円 - 13.6 円 = 451.57 円  
対照区 446.98 円  
1羽あたり 4.59 円売上げアップ

売上 / 羽 - 対策費 / 羽

一羽あたりの薬剤経費

CE 剤 : 2.8 円 × 2 回 = 5.6 円  
生菌剤 : 3.0 円  
コクシジウムワクチン : 5.0 円

1 回転あたりでは…

4.59 円 × 12 万羽 = 約 55 万円の収益向上

## 特別飼育鶏飼育上の問題点 (生産向上対策実施前)

現象

1日あたりの増体重  
飼料要求率の悪化

死亡鶏の増加  
有薬飼育 : 5 週齢以降  
特別飼育 : 3 ~ 4 週齢

問題点

生産指数の低下

死亡の主原因  
コクシジウム  
壊死性腸炎

必要な対策

1日あたりの増体重  
飼料要求率の改善

クロストリジウム  
コクシジウム対策

## 生産性向上対策

(A 農場 : 試験区 6 鶏舎、対照区 12 鶏舎)

項目	試験 1	試験 2	必要な対策
CE 剤※	入雛時	孵化直後・入雛時	飼料・敷料と接触前に投与 正常な腸内細菌叢の早期確立
コクシジウム生ワクチン	5 日齢	入雛時	早期免疫付与
3 日齢までの除糞	—	敷紙の除去	環境汚染源の排除
生菌製剤	~ 35 日齢	~ 35 日齢	後期飼料への切替後まで

※鶏盲腸内容物培養飼料

出典 : 細川泰子、奥村亮子 ( 所属 岩手県中央家畜保健衛生所 ) 「岩手県鶏病研究会」発表 (2003 年 3 月) より抜粋